

「(仮称)まちづくり構想 福知山」について

「(仮称)まちづくり構想 福知山」について、市民の皆様から御意見を募集しました。その結果を下記のとおり公表します。

1 募集期間 令和3年10月21日(木)～11月11日(木)

2 意見提出者数 7名 47件

※複数の御意見をいただいた場合、意見の趣旨を変更しない程度に集約、整理させていただいています。

3 御意見の概要及びそれに対する市の考え方

	意見	意見に対する考え方
1	<p>市民と市が協働によるまちづくりの実現に向けて 高校生に、福知山市で生きがいを持って楽しく働くとかを聞くと、よく福知山ってなにもないやんっていう返事があると聞きます。 新町通りや広小路、旧市内を歩いてても店は閉まっまっていて、ときには家が解体されている時があります。また縦筋や横筋を眺めると人がまったく歩いていない時があります。 福知山市の中心は北から南側に移ってきているということは確かです。そうした福知山のまちづくりをどうして活気づけるかが、この『市民と市が協働によるまちづくりの実現に向けて』だと思います。 地域の産業に力を入れること、観光に力を入れること、本当に大切なことばかりです。しかし、若者の福知山のイメージを変えていき、生産年齢人口の増加を図る必要があると考えます。</p>	<p>御意見のとおり、市民と市が協働によるまちづくりの実現に向けて、今回のまちづくり構想では、策定の段階から市民参画を重視し、昨年度から市民約100人で市民懇談会を立上げ、議論を行ってきました。様々な分野において活動の担い手の不足が課題となる中で、本構想においても地域活動の担い手や介護人材、新たな産業の創出など今後取り組むべき方向性を示しています。</p>
2	<p>観光では、明智光秀が築いた福知山なら、ポップランドは、駅に持っていき(南口の京都銀行駅側)に持っていき、松本零士氏の「銀河鉄道999」の星野鉄郎やメーテルの銅像を建てると、多くの観光客が訪れると思うし、福知山城は、見学のみの素通りでなく、バスを停め、乗客50人～100人がゆらガーデンだけでなく一緒に食事が出来る食事スペースをポップランドを建設しようとしている場所に建て、ゆらガーデンにも支援をいただき、一階を土産物売り場にするなど、駅付近とお城付近、観光産業に活気とつくる。そこには、福知山市の商工会や公立大や工芸繊維大にもご支援をいただくことにする。</p>	<p>(仮称)福知山鉄道館ポップランドは、個人からの多額の寄附も活用して整備を進めますが、新たな観光拠点となるよう福知山城憩いの広場ゆらのガーデン近接地に建設してほしいという寄附者の意向により場所を決定したものです。この場所に建設することで、福知山城やゆらのガーデン、土産物店等、既存施設や民間店舗との相乗効果による、大河ドラマ後における観光産業の盛り上がり期待できます。 ポップランドの体験型コンテンツ設置については公立大学と連携して進めており、また、企画展示については、今後、幅広く内容を検討していく予定です。何度も楽しめるコンテンツの創出や地域資源の活用などにより、様々な分野からの協力をいただきながら、集客に取り組んでいきます。</p>
3	<p>若者等の働く場づくりとして、長田野工業団地をはじめ福知山市の商工会や佐賀小学校や中六小学校のように廃校された校舎等を利用した物流が動く産業(例えば、天津なら「きくらげ生産」や淑徳高校とさとうが協働したスイーツ缶詰・ぶり大根缶詰・たけのこの饅頭など全国向けの産業も)や長田野工業団地・地元工場・府立工業等とも連携したITから機械工業まで、しっかりと観光産業ともども構築する。</p>	<p>御意見を踏まえ、多様な産業と連携した雇用創出につながるよう、協議を深めて参ります。</p>
4	<p>高校生や大学生が、この福知山で将来夢を持って働き、福知山を『幸せを生きるまち』にと、外に出ても必ず福知山に戻ってくるという「まちづくり」を、多くの高校生や高校の先生方にも意見を聞きながら、新しいビジョンを創っていただき、実現してもらいたい。 キャンプやスケートボードができる施設、花火大会や福知山音頭が皆でできるまちづくり、などもお願いします。</p>	<p>基本政策7 政策目標7-1の③「子どもや学生の将来に向けたキャリア教育の推進」に記載しておりますように、子ども時代からのキャリア教育を実施することで、若い世代の地域への定着を高めていけるよう取り組んでいきたいと考えます。</p>

	意見	意見に対する考え方
5	<p>全体を通じて 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う様々な制限下での審議会の開催でありやむを得ないところはあるが十分な議論を尽くせたとはいえないと考える。 福知山市の将来ビジョンを位置付ける構想であるならもっと時間をかけ徹底した議論のもと策定すべき考える。</p>	<p>今回のまちづくり構想では、市民参画の構想づくりを重視し、昨年度から市民約100人で市民懇談会を立上げ、議論を行ってきました。 その中で、コロナ禍のため、スケジュールが後押しになり、審議会で十分な議論をいただくことができなかったところはあると思います。 また審議会のやり方も今回はじめて分科会、代表者会と2段階制としました。そして、限られたスケジュールの中で、文書照会にて計画素案に対して意見をいただくこととしました。 今回の作成方法のよかった点や課題を整理し、次回以降の計画づくりに生かしていきたいと考えています。</p>
6	<p>7ページ 7万7千人福知山市民の20年後の福知山市の長期ビジョンを検討するにあたり わずか4人のペルソナ人物像の想定で果たして将来像を見出すことができるのか甚だ疑問である。</p>	<p>4人のペルソナから得られた市民生活上の社会的リスクを整理しました。整理に当たっては、ペルソナの物語の背景にあるものや関連事項等、直接物語で触れられていないものも含めて幅を広げて社会的リスクをあげるなどの取組を行います。</p>
7	<p>14ページ 15ページ 市民が感じる幸福感は人それぞれであり 行政が一概に市民の幸福感を幸福学に基づく幸福研究の手法である 幸福の4因子 を採用し 一方的に 市民が幸せを生きるための将来像を定義付け その将来像に基づき市の基本政策を掲げることが果たして正しいことなのか また 市民はそれを望んでいるのか このあたりの議論ができていないように感じる</p>	<p>市民が幸せを生きるためのあり方などの議論は、市民懇談会で時間をかけて行ってきたところです。 市民の幸せを重視した構想づくりは、あまり他の市町村ではないかもしれませんが、市民懇談会を立上げ、市民目線で検討してきた構想として整理をしてきたものです。</p>
8	<p>23ページから69ページ 課題認識 対応の方向 の記載について 簡略的で最小限の記述のように感じる。 京都府並びに府内他市町村のまちづくり構想同様に市民に分かりやすい丁寧な記述が必要と考える。 特に 対応の方向 については、やたらと 推進 とか 促進 が繰り返されており 何のためにどのような手法でもって推進なり促進するのか理解がしにくい記述となっている。</p>	<p>まちづくり構想の各施策の「課題認識」、「対応の方向」などは、大きな方向性を記載することとし、具体的な取組などは、個々の分野別計画にて記載することとします。 また、なじみのない語句に注釈をつけて説明をする、などにより、できるだけ、分かりやすい工夫をしたいと思います。</p>
9	<p>29ページ 29ページの 防災 減災 災害対策の強化 については 福知山市が避難のあり方検討会で取組方針を定めた内容が対応の方向 に記載してあるが 防災 減災 を語るなら福知山市が国 京都府等との連携で進める由良川の 減災対策 や 地域強靱化計画 に定めるハード整備もしっかりと基本政策に位置付ける必要がある。</p>	<p>防災・現在対策のハード整備は、P69(政策9、「②居住地の浸水対策、治山・治水対策」)で位置付けます。</p>
10	<p>62ページ 62ページの DXを生かした産業 サービス業の活性化の対応の方向の立地適正化計画による都市再生推進法人への認定等による民間主導によるエリアマネージメントへの支援 については「による」の繰り返しで言葉が上滑りしているだけのように感じる。 まず、どのような立地適正化計画を策定し公的不動産を活用したどのようなまちづくりを進めるのか、医療 福祉 商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点にどのように誘導するのか、市街地の空洞化を防ぐため住居や民間施設の立地をどのようにコントロールするのか、の方向性をしっかりと定める必要があると考える。</p>	<p>P62の表現を修正します。(P67「都市再生推進法人等による民間主導のエリアマネージメントに対する支援」) 現在、立地適正化計画の策定を進めており、計画案については今後、市民の皆さまにお示しして、ご意見をいただく予定です。 また、都市再生推進法人等による民間が主体となったエリアマネージメント支援等についても、今後、具体的な連携方法や取り組みの検討を進めてまいります。</p>

	意見	意見に対する考え方
11	67ページ 産業基盤の整備として道路に係る記述のみが記載されているがそれだけが産業基盤で良いのであろうか。	P67では、市が行う都市基盤整備のうち、経済活動にも密接に関係すると思われる道路網や上下水道について記載しています。例えば、工業団地の関係などは、政策8で記載しています。
12	対応の方向に民間開発を含めた市街化区域の整備と記載されているが京都府の総合計画と同様に市街化調整区域における対応方針についても丁寧に記述するべきと考える。京都府総合計画125ページには「市街化調整区域における定住促進や雇用創出に資するため地区計画などによる地域特性を生かしたまちづくりを市町村と連携して進めます」と記載されている。 全体を通じて まちづくり構想の策定についてこの程度の議論で策定してしまっても良いのか。 京都府や他市のまちづくり構想に引けを取らない立派な計画になるようもう一年時間をかけてでも作り直すべきと考える。	P26の「①良質な住宅ストックの形成と移住促進」の対応の方向において、「市街化調整区域において、農林業と調整・連携を図りながら、これまでの開発許可制度の積極的な活用に加えて地区計画等で地域が主体的に取り組むまちづくりを支援」を追記します。 今回の構想は、市民懇談会での検討が中心となっています。それをもとに、長期ビジョンや、市が取り組むこと、市民が取り組むことを整理してきました。 市民懇談会で検討整理していただいた事項について、審議会で最終確認をいただくという建付けとしています。
13	自主防災組織育成事業補助金について この補助金を申請する場合に、備品の購入に当たっては、6万円を使わないと、2万円の補助を受けられない。戸数の少なく財政が苦しい自治会では、2万円の補助金を申請するに4万円の負担となるのは、厳しいです。2万円以上の購買に対して、2万円の補助金が支払われる補助金制度にして頂きたい。「2本の消火栓ホースを買っても、補助金が出る制度にして頂きたい。」そうすれば、消火栓ホース保管箱の備品の更新が、やりやすくなる。	この補助金は、結成初年度は上限5万円補助率2分の1、以降は年限を問わず上限2万円、補助率3分の1となっており、毎年度利用でき、計画的にご利用いただくことが可能です。(例:1万5千円使われた場合、補助額5千円。) また、訓練や研修会を複数の自主防災組織で実施された場合には、上限4万円、補助率3分の2の補助金もありますのでこちらも活用いただけたらと考えています。
14	少子高齢化が進み、空き家も増えてきている。 空き家バンク制度が運用されているが、空き家バンクにも登録出来ない空き家も増えてきている。管理されている空き家は良いが、無放置で雑草が生えている空き家が、近年、増えている。取り壊すことは非常に難しいが、行政で空き家の管理を(除草)をしてもらいたい。 強制執行で取り壊されなくても、持主の許可が頂けた空き家は、行政が外部委託して、行政の資金で取り壊して頂きたい。	それぞれの空き家には所有者がおられ、所有者の財産になります。財産の管理は、所有者等の責任において行われることが最も基本的な原則です。 安全確保の重要性等の啓発をすすめ、適正な維持管理の意識向上に努めます。
15	近年の大雨で、市の管理の市道(林道)が、荒れて居る状態です。 護岸工事で大きな金額が掛かる復旧工事は、仕方がないが、重機で荒れた路面をならし、埋まった溝をさらえたら、100%の復旧が出来なくても、70%程度の復旧が出来るところは、優先に工事の実施を願いたい。 又、河川についても、府の管理かもしれないが、倒木の喜が川に流れて溜まっている箇所が多い。伐採して、倒木の除去を重機で処理して頂きたい。	市の管理の林道については、市民生活に影響がないよう、落石や倒木の撤去など維持管理を実施しています。 市道については、市民生活に支障がある場合は復旧しています。 市管理河川については、倒木等により河川の流水に支障が生じている場合は撤去しています。
16	一市三町の合併で不要となって未使用の公共建物や、学校統合により、活用出来ない廃校になった学校の建物は、早期に取り壊して、建物の管理、設備の管理をしなくてもよいようにして頂きたい。地元民に何らかの負担(草刈等)が、生じている。高齢化する中、厳しい状態になってきている。	用途を廃止した施設は、積極的に新たな利活用を検討したうえで、老朽化し危険性のあるについては、優先順位をつけて解体を行うこととしています。
17	池部の水付きは江戸時代から続く。これまで仕方ないとされてきたが、それでは納得できない。意欲的に改善改修改革の治水対策を講じるべきだ。	現在のところ、池部地区を含めた由良川右岸地域については本市が所有する排水ポンプ車を活用した対策を検討しており、更なる出動が必要な場合には、国土交通省や京都府が所有する排水ポンプ車の出動を要請するなど適切に対応していきたいと考えています。

	意見	意見に対する考え方
18	<p>・水害の現況 明治から昭和にかけて大規模な水害が起きている。時代とともに由良川の堤防改築で、水害は抑えられつつあるが、台風の大雨では水の逃げ場がなく内水の被害を受けている。</p> <p>・池部地域における対応と対策 谷川と黒木谷川、河谷川の3本が由良川に流入している。河谷川の流域は大雨が降ると急峻斜面を一気に流れて出し、由良川に注ぐ。由良川堤防には樋門が2つあり、洪水に対応しているが、樋門を締めると合流水は堤防内の溝に流れ込む。由良川の洪水位が氾濫域までくると、2つの樋門は開けられない。そうすると、府道は冠水し民家が浸水する。 この、河谷川の水を治めることが水害を防ぐ課題だ。そこで、小学校上流の高い位置から水道橋を設け府道市道を跨ぎ、堤防上まで直接由良川へ放流してはどうか。また河谷川の上流域に雨量計を設け、観測してはどうか。</p>	<p>由良川本川においては、国土交通省により積極的に河道掘削や樹木伐採を行っていただいております。由良川本川水位を下げることで内水被害の軽減に効果があるものと考えています。</p> <p>また、河谷川の水害防止としてご提案いただいている水道橋の設置については、整備手法の1つとしてお聞きさせていただくが、地形や人家の位置、流域の特性、費用対効果等の観点から困難であると考えています。</p> <p>なお、河谷川ではないが福知山市が管理する池部地域の黒木谷川には、水位計を設置しており、水位状況の変化を観測できるようにしている。現時点では、当該地域への雨量計の設置の計画はございません。</p>
19	<p>・庵我地域から大江にかけての対応 大江町は低地域の内水問題がある。そこで、排水ポンプを設け、由良川の河床整備と沿岸の整備が必要だ。河川管理区域内に立木が多く、水害を助長させている。河床を漂え、沿岸を整理することで内水被害への効果がある。</p>	<p>現在、大江町河守地域において、排水ポンプ施設と調節地の整備工事を進めており、令和4年の出水期には毎秒3トンのうち1トンのポンプが稼働できるように取り組んでいます。</p> <p>また、由良川においても国土交通省により積極的に河道掘削・樹木伐採を進めていただいております。由良川本川水位を下げることで、内水被害の軽減に効果があるものと考えます。</p> <p>併せて、由良川の維持管理においても国土交通省により適切に実施されるものと考えます。</p>
20	<p>・由良川の抜本的治水対策 上流からの洪水は綾部、福知山の盆地に淀む。それを塞ぐ手順として、大野ダムを活用すれば良い。また、由良川に溢れた水の流水方法として、トンネル工法により舞鶴湾に向け吐かせる方法があると考えます。山家地域から上林川の合流を受け、地下深くにトンネルを掘り八田川、伊佐津川の下を通り舞鶴湾の遠くの沖に流す。</p> <p>・抜本的に、由良川治水が成功すれば事業誘致も可能になり土地が活きる。活気溢れる土地を作り、人口を増やし繁栄を築けるのではないかと。</p>	<p>由良川は国土交通省が管理する一級河川です。</p> <p>大野ダムは、国土交通省より管理を移管された京都府の管理施設であり、洪水被害の軽減のために大雨時には放流量の調整等を行っていただいております。</p> <p>由良川治水対策としては費用対効果の面からも適切に判断いただくものと考えます。</p>
21	<p>市全体を賑やかにするには、新しく開発を進め人口を増やすことが一番だ。しかし、水害が課題となる。そこで抜本的な治水対策が必要だ。</p> <p>また、福知山城、三段池公園、猪崎城跡や醍醐寺、養泉寺などの名称を、バスもしくはケーブル等を設け、鬼ヶ城に展望台など改造すれば良い観光地になると思う。ふもとには、温泉など設ければ賑やかになるだろう。基本は、猪崎中地区の土地を活用し、庵我区域のまちづくりを検討することも必要だ。</p> <p>また、福知山城、三段池公園、井崎城跡や醍醐寺、養泉寺などの名称を、バスもしくはケーブル等を設け、鬼ヶ城に展望台など改造すれば良い観光地になると思う。ふもとには、温泉など設ければ賑やかになるだろう。基本は、井崎中地区の土地を活用し、庵我区域のまちづくりを検討することも必要だ。</p> <p>安井から猪崎の桜橋まで、土堤に桜の木を植えれば桜の名所となること間違い無いだらう。</p> <p>これらの費用は、民間企業や市民の協力を得ればどうにでもなると信じる。</p>	<p>人口減少に伴う持続可能な地域社会の維持については、行政だけでなく市民協働の視点が重要です。また大規模開発は民間企業のノウハウ、巨額の民間資金の投入も必要であると考えます。今年度策定のまちづくり構想で掲げている17のゴール目標を達成するために、規制緩和などできるところから対応し、水害に強いレジリエントなインフラを整備することで地域のポテンシャルの向上を図り、その上で、産業観光に繋がる民間企業の投資を促す施策展開の調査研究を進めるなどしていきたい。</p>
22	<p>夜久野地区が過疎化しているのは、生活が出来る基盤の企業や学校を作れないからだ。住民が満足を持って生活できれば良いのだから、自然と共存した過疎地に戻してはどうか。</p>	<p>少子高齢化や過疎化による担い手不足等の課題解決に向け、「豊かな自然の活用」も地域活性化のキーワードとして捉えていくことが必要であると考えています。</p>

	意見	意見に対する考え方
23	農業では特産品として、ぶどう、そば、栗、万願寺唐辛子、むべ農家が頑張っている。連携は取れているのか。	ぶどう、そば、栗、万願寺唐辛子などは、夜久野地域を含めた市全域において特産品として多くの農業者が頑張っておられるほか、若手の意欲ある農業者も増えてきています。こういった担い手の育成や、特色ある製品の魅力発信については連携をとっており、今後も生産者と協力しながら推進してまいります。
24	農匠の郷の高原市を「道の駅」のように建て替えて特産品を一括してアピールしてはどうか。夜久野荘はミニ老人ホームか、シェアハウスにしてはどうか。	現在、「農匠の郷やくの」の指定管理者制度を廃止し、民間事業者への貸付等の新たな利活用形態を検討しているところです。 今回いただいたご意見は、この検討の中で参考とさせていただきます。
25	夜久野の伝統産業は、丹波漆がある。漆かきの育成と、作家の方々が評価されることは大きな宣伝効果につながる。工芸の木地師は必要か否か、復活はできないのか。	「丹波漆」の大きな産地であった夜久野地域において、「丹波漆」「漆掻き」を継承する取組をNPO団体等と連携しながら行っており、今後も地域振興の取組と連携させながら、この伝統文化を守っていきこうとしております。本市が「丹波漆」の産地ではあっても漆器産業が無かったことから、木地師がいなかったことも漆産業の衰退の一因であったと考えられ、木地師の育成や漆器産業の新興については、今後の検討になると考えます。
26	政府はようやくIT相を作ったが、小規模で地方へ分散できないのか。夜久野でIT関連の会社を作る土地は確保できる。自然に恵まれた土地の方が社員に癒しを与える。	国の所管組織については、国においてその設置方法等を必要に応じて適切に判断されるものと考えます。 多様なライフスタイルの実現に向けた働き方の見直しという観点から、テレワークの導入など、新たな労働環境の整備について検討していきたいと考えます。
27	「市民とともに～、市民とともに～、市民とともに～」今回は策定の為に市民の会議をされたと思うが、出来れば定期的にこのような会議(市民参加の)を開催してほしい。それが市民が主体的に動くようになるきっかけになると思う。(情報共有を兼ねる)	策定して終わりではなく、今後もまちづくり構想に掲げた理念の実現に向けて市民の皆様とともに考え、取組の状況を共有できる機会の設定を検討したいと思います。
28	とにかくどの分野でも横串となるコーディネーターの育成は大切だと思う。各々、それぞれ良いことをされているが、それをつなぐ人材、それらを広く知ってコーディネートする人が少ない。(ボランティア関係も横のつながりが薄いと思う)→ネットワークと情報広報と情報共有と情報管理。	御意見のとおり、複雑・多様化する地域課題に対しては、行政組織の枠を超えた連携が重要になると認識している。地域包括支援センターや子育て総合相談窓口での相談・支援など、課題を抱える方に包括的に対応し、課題解決を図る取組については、支援を必要としている方に必要な情報が届くよう今後も引き続き情報提供に努めます。
29	十分理解できていないところであるが、金利の負担さえ市が補助してくれるのであれば、太陽光発電を設置してもよいと思っている人はあると思う。それによって太陽光発電普及は無理ですか？ 昔の福知山城の瓦1枚運動のように「市民に一口いくら出資」という形で公共施設に太陽光発電設置はできないか？ 福知山駅ホームの屋根上に太陽光発電施設(ソーラーパネル)は作れないか？ たんたんエナジーの電気会社の会社案内を読むのだが、今ひとつシステムがわからない、そういった市民も多いのでは？もっと詳しいシステム説明をしてほしい(わかりやすく)	行政自らの率先した公共空間における脱炭素化の取組の推進を検討していると同時に、市民・事業者・団体など多様な主体による脱炭素に向けた取組のための支援策を今後検討していくところです。

	意見	意見に対する考え方
30	三段池の猿山の横広いところで防災キャンプができるようにしてほしい(動物園側の入り口整備要)年に1回くらい自衛隊をまきこんで浴場設置など、イベント化してほしい。学校の校外学習にも。あわせてアンテナ広場下の広場の活用も。	青空広場はデイキャンプの利用が可能です。また、公園内の広場ではイベント実施が可能です。アンテナ広場周辺の利活用は、今後の課題として検討していきます。自衛隊や学校等との連携は、防災訓練などの機会に検討します。
31	これは個人的に進めているので、ここで伝えるのはどうかとは思いますが、裏側アルミの紙パックで日本テトラ社のものはどんなに小さくてもベルマークの点数(資金)になります。リサイクルされるので、埋め立てゴミ減量の為、何とか広く市民に広報することはできないでしょうか？純正インクカートリッジも然りです。	アルミを使用した紙パックや純正インクカートリッジ等の再資源化について、各社がメーカー回収等に取り組まれていることは承知しています。世界視点でもSDGsの2030年目標として「つくる責任 つかう責任」が謳われており、資源化を前提とした商品も増えてきていることから、「持続可能な社会」の実現に向けて、メーカー回収についても今後啓発を行っていきたくと考えます。
32	子育て世代と子育て終え世代が交流できる機会があったらと思う。	子育て世代の保護者と子どもが集い、くつろぎ、学ぶことができるコミュニティ拠点として環境整備を進めている三段池公園を活用し、世代を越えた交流の機会を検討していきたくと考えております。
33	パートナーシップ導入も検討して下さるくらいであれば、「選択的夫婦別姓陳情アクション」市としてこの制度を議会で通し可決されるようになったらと思います。男性の市内での育児休暇取得状況を広報して啓発していただきたい。	「選択的夫婦別姓制度」について、国の動向を見ながら研究していきたくと考えます。男性の育児休暇取得状況は、5年に1回実施する「事業所調査」結果で把握しており、ワークライフバランスの推進の中で啓発を行っています。
34	病院の拡充・充実も大切だが、人口減少(この先の)を考えると、ダメージが少ない訪問診療の充実も必要と思う。	訪問診療については、大江分院において在宅医療を推進しているほか、本院においても在宅ケアチームを設置し、複雑な病態やがん治療等の在宅医療をサポートしており、今後も継続していく予定です。
35	これからいくつかの地域公民館改修で休館になる可能性もある。日新コミセンにおいては、近くの信金石原支店の活用はできないか？(休館の場合)	公民館の改修についてご配慮いただきありがとうございます。大規模改修の際には、休館をする必要があります。またその間の移転先を確保する必要があります。改修の日程等が決まり、仮事務所移転をする際には、この度のご意見も参考にさせていただき、利用者にとって少しでもご不便が緩和されるよう、考えてまいります。
36	市民が市民の空き家を借りる貸し別荘のようなものはありますか？そういう活用もあっていいと思う。	本市において空き家の利活用を目的として、福知山市農山村地域空き家情報バンク制度があります。市民の方であっても、本制度に登録の物件の賃借や購入を行うことができます。市内の空き家のひとつの活用方法として本制度をご紹介します。
37	三段池公園の遺跡展示がものすごく悲惨な状態になっている。	アクセス道路の整備、施設のリニューアル、用途の変更等、公園全体での将来像を考えたくうえで、利活用を検討していきます。

	意見	意見に対する考え方
38	<p>学校給食で(鳥獣被害関係からの)ジビエ料理(鹿肉カレーなど)を年1回位出せないか？ 鳥取県等ではされている実績があるようです。先々のジビエファンを増やす為にも。(夜久野の給食センター跡地を調理場、保管場として、とか)</p>	<p>給食に地元産のジビエを食材として活用することは、地産地消・多様な献立に対応し食文化への理解を深めるために大切なことと考えています。 学校給食としては初めて令和3年12月にジビエ(シカ肉)を使用したカレーを提供します。食材はジビエの認証施設で処理・加工された安心・安全な地元産のものを使用し、市学校給食会が献立を行います。</p>
39	<p>南陵中でされている制度等リサイクル・リユースの取り組み(PTAバザー)、各学校で「親のための応援塾」の時に、リサイクル体操服などを提供するような取り組みはできないか？ピアノはそこでのリユースでもいいが、そもそも伊根町とかのように学校の所有にして吹き口のみ購入で教育負担減はできないか？ 算数セット等もそもそも購入すべきものだろうか？貸し出しは無理でしょうか？</p>	<p>保護者の教育費負担減については、各市立学校でも学校の状況に応じて意識的に取り組んでいます。SDGsの観点からも教育活動はもとより、PTAの様々な活動の中でリサイクルやリユースの意識が向上しています。学習用具の共用については、コロナウイルス感染防止の観点から積極的に進めることは難しいと考えます。購入物品の精選については、さらに努力すべきであると考えています。</p>
40	<p>クォーター制とまではいなくても、今より多くの女性議員を輩出する条例は整備できないのでしょうか？</p>	<p>女性をはじめとする多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備を図る観点から、住民が議員として活動するに当たっての制約要因の解消に資するため、本会議や委員会への欠席理由として育児、看護、介護等を明文化するとともに、出産について産前・産後期間にも配慮した福知山市議会会議規則の改正を令和3年5月に行ったところです。 今後も福知山市議会基本条例に則り、市民の多様な意見を的確に把握することに努め、福知山市の豊かなまちづくりの実現を目指して、政策、条例、意見等の提出等により市政に対して有効な政策提言を行っていきます。</p>
41	<p>定期的な自治会等单位による体力測定をし、体力年齢を測ることで健康増進につなげられないか？(その時に健康相談)</p>	<p>定期的に健康イベント等を実施し、その際に体力等の測定も行うことを検討しています。よって、そのような機会を利用して、健康増進の一助にいただければと思います。</p>
42	<p>老人会の敬老の日のお祝いの品にあえて減塩しょうゆや健康食品で減塩提案できないか？ 企業には申し訳ないですが、塩分の多い食品をお祝いとして出されている所があるが。</p>	<p>市から贈呈しております節目年齢のお祝い品については、施設入所をされている方もあることから食品を選定することは考えておりません。 また、地域で開催されている敬老会のお祝い品については、それぞれの地域の主催者が選定されています。</p>
43	<p>三段池の動物園にはユニークな仕掛けで動物にエサをやれるところがある。もっとそれをアピールすべき。 府立工業高校生(例えば機械テクノロジー科のチームブルー)に来てもらい、面白い仕掛けのエサやりをいろいろ作ってもらいアピールすることは十分効果があると思う。ユニークな動物園になると思う。</p>	<p>動物園の運営やリニューアルの検討の際に、学生や市民のアイデアを取り入れ、ユニークな動物園作りを目指していきたいと考えています。</p>
44	<p>生徒・児童のタブレット使用に対して、NHK for schoolの紹介を。</p>	<p>「NHK for school」をはじめとする無料教育コンテンツについては、すでに多くの学校で活用しています。 さらに有効な無料教育コンテンツについては、積極的に活用を推奨していきたいと考えています。</p>

	意見	意見に対する考え方
45	<p>例えば荒廃農地に菊芋を栽培。夜久野そばに入れて健康的な食品として開発するとか、菊芋チップス、ヤーコンチップスを農福連携でやってみていただきたい。(健康に特化でPR)</p>	<p>本市の農産物を使用した健康食品など福知山ならではの特産品として開発されれば、その魅力の発信や販売促進などを支援してまいりたい。 また、農福連携についても、京都府の取組とも連携を図ってまいりたい。</p>
46	<p>牧川、由良川、土師川等の大量の土砂と林のようになった樹木が気になります。 雨水槽代わりに浚渫を大規模にできないものでしょうか？</p>	<p>牧川、土師川は京都府の管理河川であり、由良川は国土交通省の管理河川です。 それぞれの河川管理者において、河道内の土砂撤去や樹木伐採等、必要に応じて対応いただいていると考えています。</p>
47	<p>P.8 4行目”steamふるさと”とありますが、これはなんでしょうか？ 住民を大事にされるのは大事なことです。総花的になるのは仕方ないかもしれませんが。残念ながら、市や市長が目指すもの(重点)が見えません。2040を目指して、初期の5年間では何をやるのか/したいのかを明示していただくよいのですが。</p>	<p>steamは誤記入のため、削除いたします。 本構想では、2040年に一人ひとりの市民が幸福に暮らしていけるまちはどうあるべきかを考え、4つの観点で将来像を示しています。 その将来像の実現に向けて取り組むべきことをバックキャストの思考で整理したものが将来に向けた基本政策であり、この5年間で取り組むことは施策体系において記載していますので、それぞれの取組を着実に実行することで将来像の実現をめざしてまいります。</p>